

部局名	都市整備部	所属名	公園緑地課	所属長名	柳澤 洋	電 話	483-1151 内線3230
-----	-------	-----	-------	------	------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	4209		事務事業名称	総合グラウンド建設事業					短縮コード	経常		臨時	4209
予算区分	会計	01	一般会計	款	08	土木費	項	04	都市計画費	目	05	公園建設費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		都市計画法第63条 都市公園法 地方財政法第23条							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
国は、スポーツ振興法第4条に基づく「スポーツ振興基本計画」で、スポーツ振興の環境を取り巻く諸課題の解決に向けた具体的施策展開を示した。本市では、平成13年度に策定された「八千代市スポーツ振興マスタープラン」を国や県の基本計画に合わせて一部改定し、平成20年3月にマスタープラン改定版を策定した。平成21年3月、市の総合計画及び生涯学習推進計画、並びに国の具体的施策との総合性を図りながら策定された「スポーツ・レクリエーション施設の整備基本構想」を受けて八千代総合運動公園と八千代広域公園との機能連携を図り、市民による全市的なスポーツ大会やスポーツイベント、小中学生による総合体育祭が開催可能な施設として総合グラウンドの建設を行うものである。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	6本の柱（章）	02	第2章教育文化都市をめざして						
平成21年4月 県・市の合意に基づき市単独事業として総合グラウンド建設事業及び市立中央図書館整備構想に着手 平成22年3月 広域公園事業地内に八千代市の総合グラウンドなどの建設に関する覚書を締結 平成24年～25年 総合グラウンド建設工事の実施					大項目（節）	04	第4節スポーツ・レクリエーション						
					中 項 目	01	1. スポーツ・レクリエーション						
					小 項 目	02	(2) スポーツ・レクリエーション施設の整備						
					細 項 目	01	①体育施設の整備と活用						
				実施計画の計画事業	2030	総合グラウンド建設事業							
計画事業の位置付けの有無			☐	計画事業期間		～			計画事業費	千円			

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	県民・市民							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成23年度に実際に行ったこと： ・総合グラウンド液状化検討業務委託 ・総合グラウンド実施設計変更業務委託							
	※平成24年度に計画していること： ・総合グラウンド地盤改良工事							
意図 （何を狙っているのか）	市民による全市的なスポーツ大会やスポーツイベント、小中学生による総合体育祭が開催可能な施設として総合グラウンドを建設する。							
ねらい（上位施策の意図）	入力対象外							
区 分				単位	22年度	23年度		24年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	総合グラウンドの整備予定面積（地盤改良工事）	ha		3	0	3	
	指標2							
	指標3							
活動指標	指標1	総合グラウンドの整備面積（地盤改良工事）	ha		3	0	3	
	指標2							
	指標3							
成果指標	指標1	総合グラウンドの整備率（地盤改良工事）	%		100	0	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	4209	事務事業名称	総合グラウンド建設事業				所属名	公園緑地課
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☒ 改革・改善して継続			県立八千代広域公園の事業地および国の交付金を活用しながら、千葉県，市の生涯学習部等の関係機関と協議，調整を行いながら，より効果的・効率的な施設整備を行っていく。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☒ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止・休止								
☐ 事業完了								
☐ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			総合グラウンドの建設により市の財政負担は増加するが、市民に新たなスポーツ・レクリエーションの場を提供することができる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☐	☐	☒		
			不 変	☐	☐	☐		
			低 下	☐	☐	☐		

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など	
新たな債務を負担しても必要な事業であるかとの懸念が表明されている。 一方で，市の負債を心配しつつも総合グラウンドなどの建設に期待する声もある。	

所属長コメント	平成22年度まで県立八千代広域公園建設事業に含み評価を実施してきたが，平成23年度より単独に評価を実施することとなったが，新川周辺地区都市再生整備計画の計画年次では，整備は平成23・24年度の継続事業であったが，昨年3月11日発生の東北地方太平洋沖地震の影響により，工法等再検討することで一年間先送りして事業推進に努めているところですが，継続費の計画年次，事業費の増額を併せ3月議会で変更承認頂いていることから，今後は発注等に際し，極力コスト縮減を考慮し施設を完成させていく。	
評価調整委員会評価	☒ 改革改善して継続	設計・施工・維持管理の最適化に取り組み，ライフサイクルコストの低減を推進し，効率的な事業の遂行に努めること。
	☐ 手法プロセスの改革・改善	
	☒ 事業規模の拡大・縮小	
	☐ 統合・役割見直し	
☐ その他		
☐ 廃止・休止		
☐ 事業完了		
☐ 現状のまま継続		